

コメント

1.インフルエンザ

24人(定点当り0.65人)と急増しており、このうち東区が20人、安芸区が4人となっています。東区からの報告が多いのは、11月15日に報告された集団かぜの影響と考えられます。なお、集団かぜの患者からインフルエンザウイルスA香港型が検出されました。

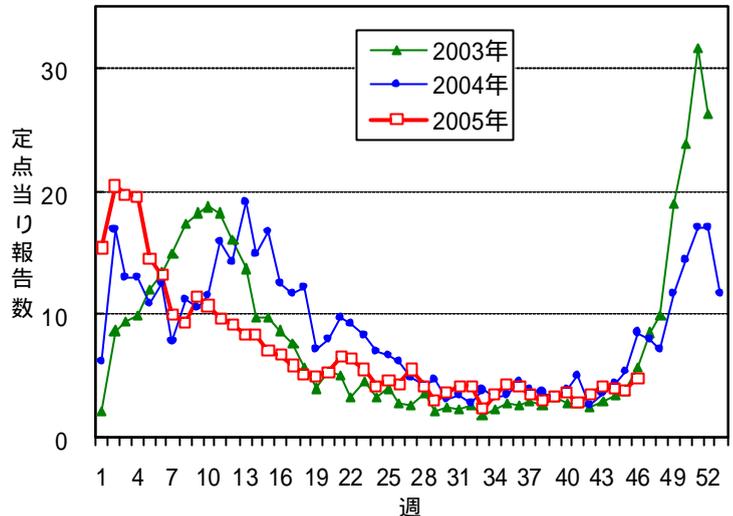
2.感染性胃腸炎

定点当り4.79人とやや増加しています。安芸区では15.0人となっています。例年この時期から患者が増加することから、今後の動向に注意が必要です。

3.水痘

定点当り1.67人とやや増加しています。安芸区では4.5人となっています。

感染性胃腸炎



5 類感染症報告状況 (定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年間(注1)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年間(注1)	発生記号
インフルエンザ(注2)	24	0.65	0.02	↑	麻疹(注3)	-	-	0.02	
咽頭結膜熱	5	0.21	0.08		流行性耳下腺炎	55	2.29	0.77	⇨
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	25	1.04	1.29	⇨	RSウイルス感染症	10	0.42		
感染性胃腸炎	115	4.79	7.64	⇨	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
水痘	40	1.67	1.82	⇨	流行性角結膜炎	5	0.63	1.30	
手足口病	-	-	0.39		細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
伝染性紅斑	2	0.08	0.17		無菌性髄膜炎	-	-	0.03	
突発性発しん	17	0.71	0.83		マイコプラズマ肺炎	2	0.29	0.34	
百日咳	1	0.04	0.02		クラミジア肺炎(注4)	-	-	-	
風しん	-	-	0.02		成人麻疹	-	-	-	
ヘルパンギーナ	2	0.08	0.15						

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1.2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.15~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1.1~1.5の増減
横ばい	⇨		ほとんど増減なし

一時的な変動と考えられる場合は、前週との比較ではなく傾向を示しています。また報告数が少なく傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数 37 (小児科定点含む)
 小児科定点数 24
 眼科定点数 8
 性感染症定点数 9
 基幹定点数 7

(注1) 過去5年間の同時期平均(定点当り)
 (注2) 高病原性鳥インフルエンザを除く
 (注3) 成人麻疹を除く
 (注4) オウム病を除く

1 類 ~ 5 類感染症報告状況 (全数把握対象分)

報告はありません。

5類感染症報告状況の推移 (定点把握対象分)

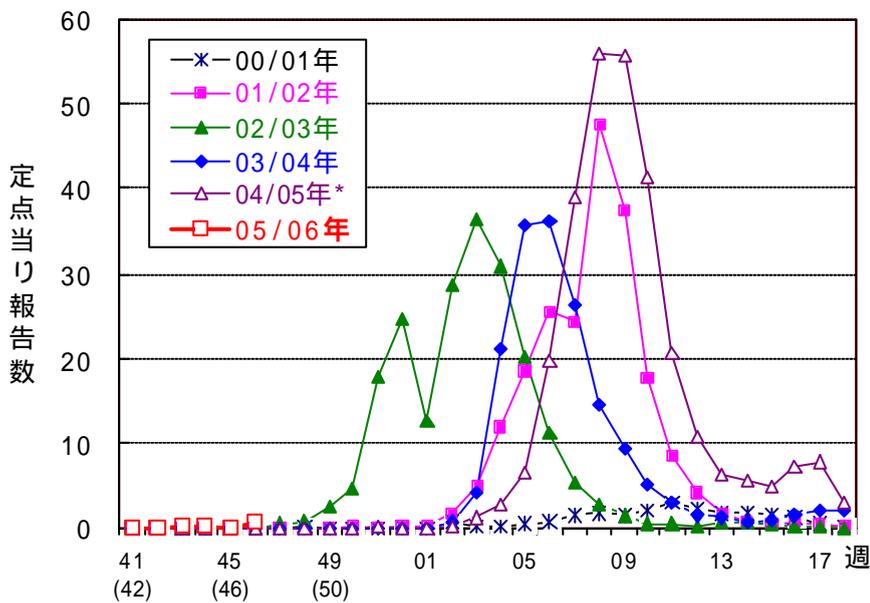
報告数	定点当り	インフルエンザ (注1)	咽頭結膜熱 A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (注2)	流行性耳下腺炎	RSウイルス 感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア肺炎 (注3)	成人麻しん	
																						第42週
広島市	第42週	3	2	27	84	18	1	4	16	1	-	5	-	68	6	-	8	-	3	2	-	-
	第43週	6	1	21	102	24	-	2	9	1	-	5	-	74	2	-	10	-	1	6	-	-
	第44週	11	1	20	96	35	1	3	8	1	-	1	-	69	9	-	7	-	-	-	-	-
	第45週	3	2	24	91	34	-	2	16	-	-	2	-	55	9	-	8	-	1	-	-	-
	第46週	24	5	25	115	40	-	2	17	1	-	2	-	55	10	-	5	-	-	2	-	-
広島市	第42週	0.08	0.08	1.13	3.50	0.75	0.04	0.17	0.67	0.04	-	0.21	-	2.83	0.25	-	1.00	-	0.43	0.29	-	-
	第43週	0.16	0.04	0.88	4.25	1.00	-	0.08	0.38	0.04	-	0.21	-	3.08	0.08	-	1.25	-	0.14	0.86	-	-
	第44週	0.30	0.04	0.83	4.00	1.46	0.04	0.13	0.33	0.04	-	0.04	-	2.88	0.38	-	0.88	-	-	-	-	-
	第45週	0.08	0.08	1.00	3.79	1.42	-	0.08	0.67	-	-	0.08	-	2.29	0.38	-	1.00	-	0.14	-	-	-
	第46週	0.65	0.21	1.04	4.79	1.67	-	0.08	0.71	0.04	-	0.08	-	2.29	0.42	-	0.63	-	-	0.29	-	-
全国	第44週	0.05	0.18	1.00	3.54	0.92	0.35	0.15	0.62	0.01	-	0.14	-	1.18	0.03	0.90	0.01	0.03	0.37	0.01	-	
	第45週	0.05	0.23	1.14	4.66	1.12	0.32	0.15	0.64	0.01	-	0.13	-	1.34	0.02	0.90	0.04	0.02	0.40	0.02	-	

(注1) 高病原性鳥インフルエンザを除く (注2) 成人麻しんを除く (注3) オウム病を除く

新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者 年齢	性別	発症 年月日	検査材料	検出病原体
ヘルペス感染症(疑)	0	女	2005/10/12	咽頭拭い液	ムンプスウイルス

【参考】広島市における過去5シーズンのインフルエンザの定点当り報告数の推移



インフルエンザは、年末ごろから報告数が増え始め、年が明けてから本格的な流行になる場合が多いですが、2002/2003年シーズンのように、12月初め(第49週ごろ)から流行期に入ることもあります。

今シーズンは、第41週に初めての患者が報告された後、少数ですが報告が続いています。また、昨シーズンより2か月以上も早く集団かぜが発生し、インフルエンザウイルスA香港型が検出されています。

今後の動向に注意が必要です。

流行に備え、早めに予防接種を受けましょう。

* 04/05年シーズンは、第53週までであるため、グラフでは()内の週に対応している。

本週報は、インターネットでもご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

なお、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

この情報の詳細に関するお問い合わせ先

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号

TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp

2005年第46週(11月14日~11月20日)